

令和3年度 岩手県立大野高等学校経営計画

校長名： 北田 義徳

1 現状把握 将来	(1) 学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した学校生活</li> <li>円滑な人間関係</li> <li>進路希望の実現</li> <li>確かな学力の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活</li> <li>学力向上と進路実現</li> <li>部活動の充実</li> <li>個に応じた丁寧な指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を担う人材育成</li> <li>地域行事参加・地域活性化</li> <li>小中学生が魅力を感じる学校</li> <li>学校存続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的学力、社会人基礎力育成</li> <li>多様な生徒の支援</li> <li>地元企業への就職</li> </ul>
	(2) パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な教育活動への参加と情報発信</li> <li>地域行事・ボランティア活動への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価への参加及び学校経営への理解</li> <li>教育活動への協力</li> <li>家庭との緊密な連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山整備事業の継続</li> <li>地域行事・ポラテアへの参加</li> <li>探究活動、体験学習等の教育活動への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育への協力</li> <li>洋野町による財政支援</li> <li>同窓会による教育支援</li> <li>地区中学校との連携</li> </ul>
	(3) 学校に影響を与える変化	<p>1 少子化による生徒数減少、学級減及び教員定数減措置。                  2 心身の発達状況に課題を抱え特別な支援を必要とする生徒の増加                  3 <b>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う再度の緊急事態宣言や臨時休業措置の可能性</b></p>			
2	校訓・教育目標	<p>【校 是 ～誠 意 ・ 進 取 ・ 創 造～】「知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な人間の育成を期し、生徒の持つ優れた素質と能力を十分に開発伸長させ、地域社会の発展に寄与する人材の育成を図る。」</p>			
3 目指す 学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標	
		ア 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に関するアンケート調査 満足度 <b>総ての教科で平均</b> 90% 以上</li> <li>校内調査で平日の家庭学習 全体平均で 1時間15分 以上</li> </ul>	
		イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>3年進路達成率 100%</li> <li>国公立大学・短大合格達成</li> </ul>	
		ウ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価で「自己有用感の醸成」について 生徒及び保護者 満足度できているの割合 88% 以上</li> <li>PTA総会参加率 30% 以上 (PTA役員会参加率 80% 以上)</li> </ul>	
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止。		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価で生徒及び保護者の満足度 「生徒に寄り添う姿勢の生徒指導」できているの割合 85% 以上</li> <li>学校評価で生徒及び保護者の満足度 「いじめ防止の取組」できているの割合 92% 以上</li> </ul>	
	オ 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価で「学校生活への満足度」について 生徒及び保護者満足度 85% 以上</li> <li>定員の半分以上を超える志願者</li> </ul>		
	(2) 取組方針	<p>ア 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。                  (7) 計画的な「朝学習指導」や「わかる授業」の実践、「学習の振り返り」や「家庭学習習慣の確立」に取り組み、「基礎的学力の定着」及び「思考力・判断力・表現力の育成」を目指す。                  (4) 観点別評価を活用し授業改善に努め、生徒の主体的な学習活動や協働による学びを工夫し、自ら課題解決に取り組む力を育成する。                  (5) ICT機器の授業での活用を一層推進するため、校内研修会や授業研究会を実施する。                  (1) 遠隔教育(オンラインを活用した指導)の研究やTeamsの活用を推進する。。</p> <p>イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。                  (7) 生徒の進路希望を実現するために、個々の特性や能力を把握し、発達段階に応じた計画的な課題を設定する。                  (4) 総合学習、インターシップ、キャリアスポーツの活用等を通じて主体的に進路を選択し、決定できる能力を育てる。</p> <p>ウ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。                  (7) 本校のよい伝統である挨拶を徹底し、地域の児童生徒の模範となるよう努める。                  (4) 洋野町、地域の事業所、高等教育機関と連携した体験学習や探究活動を通して、地域防災の担い手としての資質や地域課題に関心を持ち、その解決に取り組もうとする態度を育成する。                  (5) 地域行事に積極的に参加し、「地域の一員としての自覚」と「自己有用感」を持って地域の活性化に貢献する人材を育成する。                  (1) 振興協議会と評議員会で学校運営協議会の周知と設立を進める。</p> <p>エ 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」の推進(未然防止)                  (7) 自他の生命とお互いの人権を尊重し、大切に明るく学校づくりに努める。                  (4) 「いじめ問題」と「自殺未然防止」に組織的に取り組む。教職員の資質向上のため「いじめ防止」や「心のサポート」研修会を実施する。                  (5) 総ての教職員が親身になって話を聞く姿勢を示し、生徒が安心して相談できる環境をつくる。                  (1) 生徒の心と体の健康状態に配慮し、SC、支援員、関係機関と連携し、生徒一人ひとりを組織的に支援する。</p> <p>オ 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む                  (7) 大野中学校との連携を推進するとともに、生徒、卒業生が中学生と活動(交流)する場を設定する。                  (4) 「高校の魅力化促進事業」や生徒会活動を通して、生徒による魅力ある学校づくりを進める。                  (5) 学校からの情報発信を通じて、学校の取組について広くアピールする。                  (1) コンプライアンスの徹底を図り、明るい職場づくりを進める。</p>			